

長崎市における 歴史・観光 街づくりと融合した脱炭素地域の実現

地球温暖化とそれに伴うさまざまな異常気象が発生している昨今、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取組み「カーボンニュートラル」の重要性が高まっています。わが国は、国土に平野部が少ない地理的な問題などから、再生可能エネルギーの割合は先進国の中でも決して高くないのが現状です。

2050年にカーボンニュートラルを達成するため、政府は「脱炭素先行地域」として、先進的な地域の取組みを選定し、それを全国へ広げ、脱炭素を実現・加速させていく「脱炭素ドミノ」の動きを進めています。

私たち NTT アーバンソリューションズは、NTT グループはもとより、地域の関係者と連携しながらの街づくりに取り組み、その中で脱炭素に関するプロジェクトにも、数多く取り組んできました。

今回のプロジェクトで携わる長崎市は、水産業や造船業などの衰退により地域経済が停滞しており、その活性化が重要課題となっています。私たちは長崎市の豊富な観光資源に着目し、脱炭素の取組みと併せることで、課題を解決できると考えました。

そこで取り組んだのが「歴史文化」×「夜景観光」×「脱炭素」が融合した長崎市版サステナブルツーリズムの世界発信です。この取組みにより長崎市の地域経済の活性化と脱炭素の両立をめざします。

今回、長崎市と NTT アーバンソリューションズが中心となり、地域コミュニティや観光コンベンション協会、地元の大学などと連携しながら、地域の脱炭素と観光振興の同時実現に向けた検討、活動を行っています。

私たちの取組みは、脱炭素ドミノの先導プログラムとして評価され、2023年11月、環境省が進める脱炭素先行地域として採択されています。

地域活性化と脱炭素化に向けては、3つの取組みを推進しています。

ひとつ目は、脱炭素ノウハウの提供で、建築設備のエネルギー管理システムを構築し、歴史的建造物の省エネを実践します。

二つ目は、観光の高付加価値化で、歴史文化などを長崎市市民と一体となって観光客が体験できるよう、長崎市版サステナブルツーリズムを推進します。

三つ目は、夜景観光の磨き上げで、夜景ライトアップ施設の脱炭素化により、ナイトエコノミーの加速に貢献します。

NTT アーバンソリューションズは、これらの取組みについて、総合戦略の立案や推進支援を担っています。

本取り組みでは、市の主要な観光資源である大浦天主堂、旧英国領事館や旧グラバー邸など数多くの世界文化遺産、歴史的建造物が現存する地区や、世界新三大夜景のひとつ、稲佐山から見下ろす夜景ライトアップ施設の脱炭素を推進します。

この地域は、歴史的な街並みを維持するため、施設改修に対する制約が多いエリアでした。

制約がある中、景観に配慮しながら徹底した省エネ改修を実施し、地域新電力会社を介した市内への再生可能エネルギーの供給、さらに地元の大学と連携した環境教育や MaaS アプリによる市民・観光客の環境行動意識の向上に取り組んでいます。

これらの取り組みにより、約 6 万トンの CO2 削減を見込んでおり、これは森林約 200 ヘクタールが吸収する量に相当する効果となります。

私たち NTT アーバンソリューションズは、今回のような施設改修の制約が多いエリアの脱炭素化に取り組んだノウハウを、長崎市内の他の地域、さらには同じ悩みを抱える全国各地のカーボンニュートラルに向けたプロジェクトに展開し、わが国がめざす「脱炭素ドミノ」の実現に貢献できるよう、引き続き取り組んでまいります。